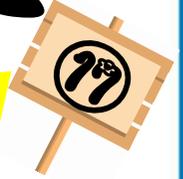


# ごみが処理されるまで

～空へとつづく「ごみ」のたび～



けむり

ようゆうろ

も

## 煙・カーボンを溶融炉で燃やします。

ガス化炉から送られた未燃ガスやカーボンを『溶融炉』で燃やします。

従来の各町にあったごみ焼却場は、ごみを燃やす設備の『炉』は、一つでしたが、根室北部広域ごみ処理施設は「ガス化炉」と『溶融炉』の2つの炉でごみを燃やす仕組みになっています。

ガス化炉で発生した熱分解ガスやチャー（炭）を燃焼させ、飛灰と不燃物を安定的に溶融し、連続的かつ安定して溶融スラグを排出します。

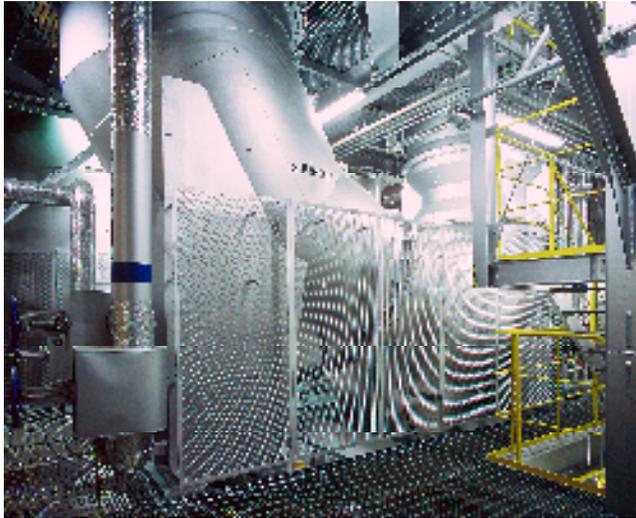
# ようゆうろ 溶融炉によるねんしょう 燃焼

温度

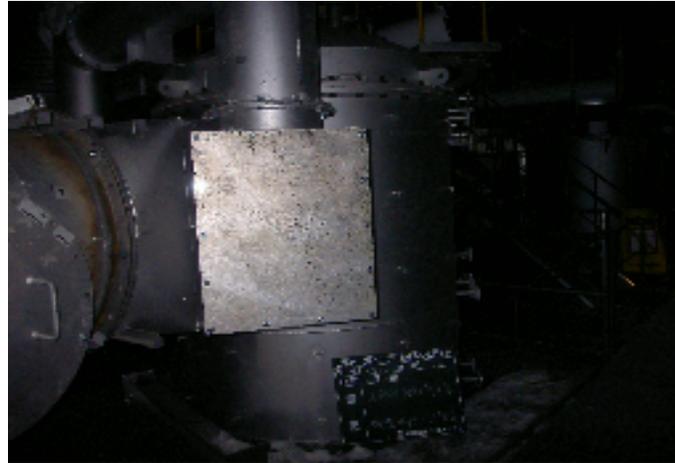
ようゆうろ ねんしょう おんど  
溶融炉の燃焼温度は、

1,300°C

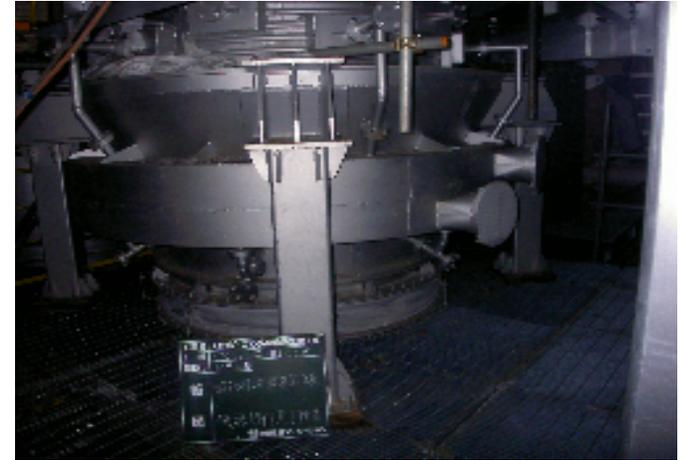
ようゆうろ がいかん  
③溶融炉外観



ようゆうろ かんたい じょうぶ  
①溶融炉缶体上部



ようゆうろ じねんしょうしつ  
②溶融炉2次燃焼室



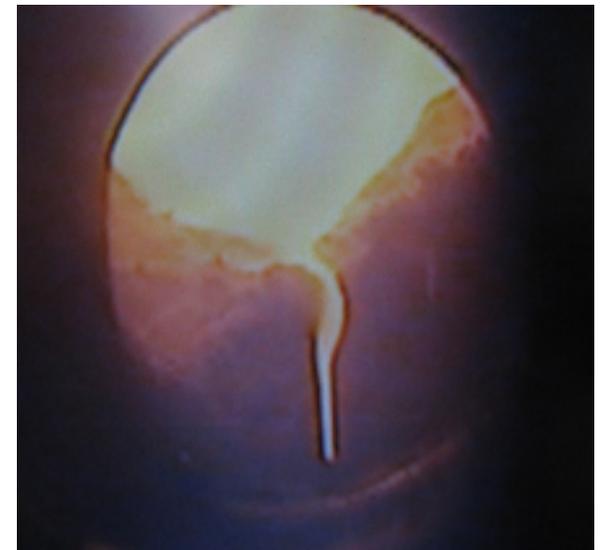
ようゆうろ  
④溶融炉バーナー



ようゆうろ たいかぶつ  
⑤溶融炉耐火物



ようゆうろ しゅっさいこう  
⑧溶融炉出滓口



ろ しつ ぜんけい けんせつじ  
⑥炉室全景(建設時)



ようゆうろ がいかん  
⑦溶融炉外観



ダイオキシンは、800°C  
いじょう こうおん かんぜんねん  
以上の高温での完全燃  
しょう ぶんかいかのう  
焼により分解可能に  
なっています。